

3（4） 幸福実感と生活実感の相関関係

（1）分析目的

生活実感に関する 130 の設問項目が幸福実感にどの程度寄与しているかを把握するために分析を行った。市民の幸福実感向上につながりやすい分野あるいは逆につながりにくい分野を把握することは、今後の政策や施策を検討していく上で参考となりうる。

（2）分析方法と表の見方

生活実感と幸福実感をそれぞれ点数化し、相関係数を求めることで生活実感と幸福実感の相関の強さを調べた。次ページ以降の表には 27 の政策分野別の相関係数と属性ごとの相関係数が大きかった項目の上位 5 位を示した。示された項目は幸福実感との正の相関が比較的強い項目であると考えることができる。言い換えれば、これらの項目の生活実感が高いほど幸福実感も高くなる傾向があるということになる。

計算法として、生活実感の「そう思う」をプラス 2 点、「どちらかというと思う」をプラス 1 点、「どちらとも言えない」を 0 点、「どちらかというと思わない」をマイナス 1 点、「そう思わない」をマイナス 2 点と設定し、幸福実感の「とても幸せだと思う」をプラス 2 点、「どちらかという幸せだと思う」をプラス 1 点、「どちらとも言えない」を 0 点、「どちらかという幸せではないと思う」をマイナス 1 点、「不幸せだと思う」をマイナス 2 点と設定し、生活実感の 130 項目それぞれと幸福実感との間の相関係数を算出した。

相関係数はマイナス 1.0 からプラス 1.0 までの値を取る。プラスであれば正の相関であり、生活実感が上がれば幸福実感も上がる。ゼロであれば無相関であり、生活実感が上がっても幸福実感は上がらない。マイナスであれば負の相関となり、生活実感が上がれば幸福実感は下がると考えられる。

なお、一般的に相関関係の強弱の目安は以下のとおり示されることが多く、本報告書においてはこの基準で相関の強さを判定している。

強い相関がある： $\pm 0.7 \sim \pm 1.0$ 中程度の相関がある： $\pm 0.4 \sim \pm 0.7$ 以下
弱い相関がある： $\pm 0.2 \sim \pm 0.4$ 以下 ほとんど相関がない： ± 0.2 未満

（3）分析結果

政策分野で見ると、市民生活とコミュニティ、学校教育、産業・商業など生活に密着した分野が上位となったが相関係数は 0.2 台であり、弱い正の相関にとどまる。

130 の設問ごとに見ると、市全体の結果については、市民生活とコミュニティの分野の Q17「地域の一員として安心してくらするまちになっている」、学校教育の分野の Q85「学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる」が上位となったが相関係数は 0.3 台であり、弱い正の相関にとどまる。

世代別・性別の結果については、突出した結果を示した項目はないものの、若い世代ほど高い相関係数を示す傾向がみられる。

居住区別の結果については、東山区と南区で市民生活の安全の分野の Q25「消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている」が相関係数約 0.7 であり、強い正の相関を示していることは特徴的である。

【政策分野別(27の政策分野ごとの相関関係)】

政策分野	相関係数
市民生活とコミュニティ	0.250
学校教育	0.246
産業・商業	0.236
市民生活の安全	0.234
消防・防災	0.222
子育て支援	0.221
生涯学習	0.217
大学	0.213
文化	0.202
住宅	0.202
人権・男女共同参画	0.201
地域福祉	0.198
高齢者福祉	0.196
スポーツ	0.189
農林業	0.178
くらしの水	0.174
保健衛生・医療	0.166
青少年の成長と参加	0.165
国際化	0.165
観光	0.165
建築物	0.164
環境	0.162
景観	0.157
障害者福祉	0.146
土地利用と都市機能配置	0.141
道と緑	0.140
歩くまち	0.111

【居住区別(生活実感に関する130項目の設問ごとの相関関係)】

北区	相関係数	分野	設問
1位	0.552	国際化	Q57 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。
2位	0.523	消防・防災	Q121 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。
3位	0.502	土地利用と都市機能配置	Q102 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。
4位	0.448	景観	Q105 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。
5位	0.440	子育て支援	Q64 子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場が身近にある。

上京区	相関係数	分野	設問
1位	0.601	国際化	Q57 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。
2位	0.547	市民生活とコミュニティ	Q19 地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。
3位	0.495	青少年の成長と参加	Q15 青少年がニート、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できる場所があり、支援がされている。
4位	0.494	人権・男女共同参画	Q9 いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。
5位	0.470	市民生活の安全	Q23 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。

左京区	相関係数	分野	設問
1位	0.547	消防・防災	Q120 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。
2位	0.473	高齢者福祉	Q73 高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送れている。
3位	0.452	市民生活の安全	Q22 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。
4位	0.447	生涯学習	Q90 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。
5位	0.444	人権・男女共同参画	Q9 いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。

中京区	相関係数	分野	設問
1位	0.526	生涯学習	Q89 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。
2位	0.430	学校教育	Q85 学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。
3位	0.429	文化	Q28 文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。
4位	0.387	産業・商業	Q36 京都の商業は盛んで楽しく買い物ができ、元気な商業者が多い。
5位	0.387	大学	Q53 京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。

東山区	相関係数	分野	設問
1位	0.737	市民生活の安全	Q25 消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている。
2位	0.662	国際化	Q56 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。
3位	0.642	観光	Q44 京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。
4位	0.637	人権・男女共同参画	Q8 くらしのなかで互いの人権を尊重し合う習慣と行動が広がっている。
5位	0.615	市民生活の安全	Q24 悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害を救済するしくみが整っている。

山科区	相関係数	分野	設問
1位	0.520	学校教育	Q83 保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。
2位	0.474	産業・商業	Q37 働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。
3位	0.467	地域福祉	Q71 地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。
4位	0.457	消防・防災	Q124 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。
5位	0.452	産業・商業	Q33 京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。

【居住区別(生活実感に関する130項目の設問ごとの相関関係)】

北区	相関係数	分野	設問
1位	0.552	国際化	Q57 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。
2位	0.523	消防・防災	Q121 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。
3位	0.502	土地利用と都市機能配置	Q102 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。
4位	0.448	景観	Q105 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。
5位	0.440	子育て支援	Q64 子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場が身近にある。

上京区	相関係数	分野	設問
1位	0.601	国際化	Q57 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。
2位	0.547	市民生活とコミュニティ	Q19 地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。
3位	0.495	青少年の成長と参加	Q15 青少年がニート、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できる場所があり、支援がされている。
4位	0.494	人権・男女共同参画	Q9 いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。
5位	0.470	市民生活の安全	Q23 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。

左京区	相関係数	分野	設問
1位	0.547	消防・防災	Q120 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。
2位	0.473	高齢者福祉	Q73 高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送れている。
3位	0.452	市民生活の安全	Q22 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。
4位	0.447	生涯学習	Q90 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。
5位	0.444	人権・男女共同参画	Q9 いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。

中京区	相関係数	分野	設問
1位	0.526	生涯学習	Q89 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。
2位	0.430	学校教育	Q85 学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。
3位	0.429	文化	Q28 文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。
4位	0.387	産業・商業	Q36 京都の商業は盛んで楽しく買い物ができ、元気な商業者が多い。
5位	0.387	大学	Q53 京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。

東山区	相関係数	分野	設問
1位	0.737	市民生活の安全	Q25 消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている。
2位	0.662	国際化	Q56 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。
3位	0.642	観光	Q44 京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。
4位	0.637	人権・男女共同参画	Q8 くらしのなかで互いの人権を尊重し合う習慣と行動が広がっている。
5位	0.615	生活の安全	Q24 悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害を救済するしくみが整っている。

山科区	相関係数	分野	設問
1位	0.520	学校教育	Q83 保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。
2位	0.474	産業・商業	Q37 働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。
3位	0.467	地域福祉	Q71 地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。
4位	0.457	消防・防災	Q124 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。
5位	0.452	産業・商業	Q33 京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。

下京区	相関係数	分野	設問
1位	0.641	市民生活とコミュニティ	Q18 町内会・自治会などの地域の組織の活動が盛んである。
2位	0.633	保健衛生・医療	Q82 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。
3位	0.629	建築物	Q111 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくなるよう改善されている。
4位	0.604	子育て支援	Q60 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。
5位	0.604	学校教育	Q86 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。

南区	相関係数	分野	設問
1位	0.693	市民生活の安全	Q25 消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている。
2位	0.645	学校教育	Q86 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。
3位	0.639	保健衛生・医療	Q80 安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。
4位	0.638	産業・商業	Q35 京都の特色を生かした産業活動が行われている。
5位	0.596	学校教育	Q84 安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。

右京区	相関係数	分野	設問
1位	0.393	土地利用と都市機能配置	Q101 身近な地域が魅力的になっている。
2位	0.382	市民生活とコミュニティ	Q17 地域の一員として安心してらせるまちになっている。
3位	0.344	障害者福祉	Q65 障害への理解が進み、障害のあるひともないひと、認め合い、支え合っけるまちになっている。
4位	0.340	くらしの水	Q125 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。
5位	0.336	産業・商業	Q35 京都の特色を生かした産業活動が行われている。

西京区	相関係数	分野	設問
1位	0.431	学校教育	Q84 安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。
2位	0.426	産業・商業	Q34 京都では価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。
3位	0.389	人権・男女共同参画	Q9 いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。
4位	0.388	子育て支援	Q62 必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり、安心して子どもを生み育てることができる。
5位	0.385	学校教育	Q86 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。

伏見区	相関係数	分野	設問
1位	0.431	人権・男女共同参画	Q9 いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。
2位	0.418	市民生活とコミュニティ	Q20 多様なNPOやボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。
3位	0.414	消防・防災	Q122 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。
4位	0.400	建築物	Q110 地震や火災に強い建物が増えている。
5位	0.396	市民生活とコミュニティ	Q17 地域の一員として安心してらせるまちになっている。